神に祈り、日本を救い、日本を変える

TPC
365日祈り会
365日礼拝

東京プレヤーセンター　Tokyo Prayer Center

News Letter
ニューズレター

MARCH
2014
Vol. 27

発行責任者：代表／チャプレン 和氣敏治

「日本の大リバイバルのために祈り備えよう」

世界宣教センター　所長
奥山　実

昔々のその昔、「クリスチャンにはリバイバル、未信者には伝道」とビリー・グラハムが言ったように、リバイバルとはキリスト教世界に起こることで「信仰復興」のこと、つまり駄目教会がまともな教会になり、名ばかりクリスチャンが新生してホンモノ信徒になることだったのです。

しかしそれは「昔々のリバイバルの定義」であって、「ミッションの定義」が変わって「海外宣教」と言わず「世界宣教」と言うようになったように、現在の世界のリバイバルは、インドネシアや中国のリバイバルのように、聖霊様によって教会も刷新されるが「異教徒が爆発的に救われること」を言うのです。

聖書の御言葉は変わりませんが、我々人間の作った神学も神学用語も変わり行くのです(Reformed theology)。変わらない神学などはないのです（ソラ・スクリプトウラ！）。

さて、お隣の韓国を訪問すればお分かりのように、多くの教会で、講壇に「日本のリバイバル、一億二千万の救霊の為に！」などと書かれた大きな垂れ幕が掲げてあります。つまり韓国の教会が日本のリバイバルの為に祈って下さっているのですが、それは日本の1%のクリスチャンの刷新の為に祈っているのではなく、日本人が爆発的に救われますように！と祈っているのです。

今や韓国、欧米の教会のみならず、驚くなかれミャンマーの山の中のカチン族（95%クリスチャン）、インド北方のナガランド族（100%クリスチャン）、中国の地下教会までが、日本のリバイバルの為に祈っています！

日本の教会は、全体的に閉塞感に覆われていると言われていますが、一方、今や力強い聖霊様の訪れが顕れはじめ、或るペンテコステ教会の青年会は、日本のリバイバルの為に24時間連鎖祈祷を続けているのです！神に不可能はありません。日本人が総崩れで主に立ち返り、日本が創造主なる唯一の神を礼拝する国となる日がくるのです！！その日の来るのを待ち望み、その日のために祈り、備えて行こうではありませんか。

マラナ・タ 主よ来たりませ！

〝信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。(ヘブル11：1)

TPCの活動目的

(1)超教派として活動する。

(2)毎日、礼拝を捧げ、祈り会を行う。

(3)閉塞感のある日本のキリスト教会に元気を与える。

(4)伝道、学びなどのために貸室を提供する。